日本のトップランナー企業

—PR—

日本の建築技術を世界へ 建築業界の改善を目指す

エージェック

建築コストの削減と品質向上を両立

建築コストの削減と建築品質の向上を行うAGEC（エージェック）はコンストラクションマネジメント（CM）の方式を使って、日本の建築業界を本気で改善しようとしている。2006年創業のまだ若い企業ながら、その実績は日本全国はもとより、中国、ベトナム、インドなどの東南アジアにも広がりを見せる。昨年はフランスやメキシコでも仕事を行った。

日本ではまだ本格的に普及しているとは言い難いこのCMは米国で確立した建築プロジェクトの実施方式で、建築工期の遅延、予算超過などを防止するため、発注者、設計者と一体となって建築の全般を運営管理する。ニューヨークのワールドトレードセンタービルもその方式で建築されたものとして有名だ。日本でも早くから注目はされてはいたが、まだまだこれからといった段階にとどまっているのが現状だ。

発注者のメリットが口づてに広がる

建築には素人である発注者にとって、建築の工程管理や品質管理は難しく、知り合いの建築会社を頼って任せるのが陥りがちなパターンだろう。特に中小企業にとって工場や倉庫などの建設は社運を賭けたものになることがほとんどだが、極端な話、見積もりが出されてもそれが高いのか安いのか分からない。同社は発注者に寄り添ってサポートを行い、場合によっては躊躇（ちゅうちょ）していた案件の後押しをすることもある。

例えば同社が請け負った最大の工場建築プロジェクトでは、競争見積もり価格から21%ものコストを削減している。発注者の希望金額、希望工期を実現するため、建設会社の取引業者（専門工事業者）を交えて短工期を目指した折衝を行い、工法の選択についても提案を行うなどして、希望通りの結果を実現できた。こうした実績を積み上げることで、それが口づてとなり徐々に実績が広がっているのだ。

20年に向けたビジネスチャンス

今は特に20年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた建築需要の増大で、人件費増、建築資材費増が発注者を悩ませている。

同社は「納得いく建物づくり」を掲げて、全国に巡らせたネットワークの中からそれぞれの建築プロジェクトに合わせた設計事務所、建築会社を選ぶことまで対応する。そして工事が始まれば監修を行い、工事終了後も不当な追加請求などがないかをチェックする。

同社の作本義就社長自身、建設会社で勤務し発注者と折衝した経験を持っている。だから発注者側の思いが良く分かると同時に、耐震偽装などの問題が起こるたび、昨今の日本の建築業界で進む若年化が技術力の低下につながっているのを忸怩（じくじ）たる思いで見ている。「このまま看過していては日本の建築技術は衰退していく一方になる」との危惧から、それをフォローするのも同社の務めと心得ている。

エージェック
作本 義就 社長

建築業界を変える

「今の建築業界はまだまだ他業界と比べてスピード感に劣る」と作本社長。今の多くは設計を行った後で建築会社に見積もりを取り、予算を調整していく。これだと非常に時間がかかる。また、品質確保のできない設計内容を建築会社に押し付ける設計者も少なくないという。同社では設計内容を事前に指導し、それをもとに建築予算を出しプロジェクトの全体構成を早い段階で決定していく。

そうすれば「もっと面白い業界にできる」（同）と期待に胸を膨らませる。もともと、5S（整理・整頓・清掃・清潔・躾）と同様、日本の建築現場における安全・安心は、東南アジアなど海外で仕事をしたときに感じる大きな特徴の一つだ。日本で古くから伝わる建築技術と合わせて、それらを海外に普及していくことを目標にしている。そして「建築業界を憧れの仕事にできれば」（同）と業界の変革の旗手としての存在感を増している。

Agec株式会社（エージェック株式会社）
http://www.agencyconst.jp
〒550-0012
大阪市西区立売堀1-4-10 四ツ橋パークビル7階
TEL:06-6538-7881　FAX:06-6538-7882